

日本現代女性文学におけるファンタジー

目次

目次

序章 日本現代女性文学の起点とは 5

1. 敗戦による新時代の到来
2. 百花繚乱に咲き誇った時代
3. 制度に逆らうエクリチュール

第一章 幻想文学へのアプローチ 19

ージェンダー批評を視座に

1. ストラテジーとしての幻想文学
2. ジェンダー批評とは
3. 日本のフェミニズム批評／ジェンダー批評

第二章 ファンタジー・ワールドに陶酔する老女

ー円地文子 37

1. はじめに
2. 「父」に対するアンビバレントな感情からの
出立
3. 「妖」なるものの内実
4. ファンタジー・ランドを逍遙する放恣の魂
5. 山姥を思わせる花食い姥
6. 花食いのメタファー
7. おわりに

第三章 聖視化される母性愛を憎悪する女
—河野多恵子 81

1. はじめに
2. 灰色の青春時代
3. 幼児を狩る女
4. ハイブリッドな女性のセクシュアリティ
5. おわりに

第四章 ジェンダーを操作する反逆的な女
—大庭みな子 105

1. はじめに
2. 波紋を呼ぶデビュー
3. 個体としての女の存在の覚醒
4. 自存の孤独と性的他者との葛藤
5. おわりに

第五章 あらゆる制度をパロディ化する反世界の住人—倉橋由美子 133

1. はじめに
2. 自己流に書きたいことを書いている素人
3. 切断された首
4. 破壊的な夢想
5. おわりに

第六章 不在を追求するメタフィクションの紡
ぎ手—金井美恵子 163

1. はじめに
2. 書くことについて書くこと
3. 女の眩暈的なアイデンティティ
4. 近親相姦的願望
5. ポリフォニーを響かせるメタフィクション
6. おわりに

終章 191

参考文献 201

初出一覧 221

